

主な特長

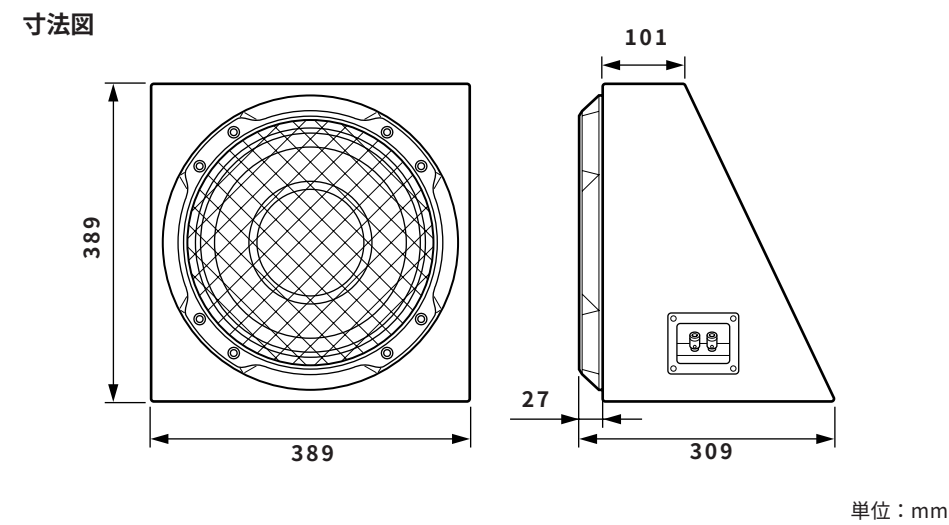
- ・アルミダイキャストフレーム採用、低歪み大パワー設計
- ・大口径30cmウーファーにより、スピード感ある重低音を再生
- ・小型エンクロージャーの採用でカーゴスペースの有効活用を実現

使用上のご注意

- ・窓を閉めきった自動車を直射日光下に放置すると、車内は相当な高温になります。そのようなときは、車内の温度を下げてからご使用ください。
- ・安全のため、運転中は車外の音が十分聞こえる程度の音量でご使用ください。
- ・音がひずむほどの大音量で鳴らさないでください。
- ・キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響でカードの磁気に変化し、使えなくなることがあります。

主な仕様	
スピーカー	アルミダイキャストフレーム 30 cm コーン型ウーファー
最大入力	400 W
定格入力	120 W
インピーダンス	4 Ω
出力音圧レベル	85 dB/W/m (50 Hz 時)
再生周波数帯域	25 ～ 500 Hz
重量	約 13 kg
付属品	取り付け接続部品（一式）、取扱説明書（1）、 ソニーご相談窓口のご案内（1）、保証書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



**警告**

安全のために

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

**火災**

**感電**

行為を禁止する記号

**禁止**

**分解禁止**

**警告**

**火災**

**感電**

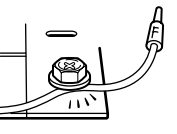
下記の注意を守らないと**火災・感電により死亡や大けが**の原因となります。

運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ・ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- ・コード類はまとめる。
- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

**禁止**



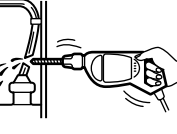
雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない

上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない

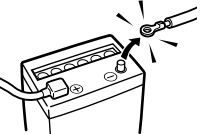
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認してください。

**禁止**



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



分解や改造をしない

火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流容量を超えてしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

**注意**

下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、不安定な場所などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

本体に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度にする

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

SONY

3-856-928-01 (1)

ボックスサブウーファースystem

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

XS-RV3

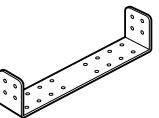
Sony Corporation ©1996 Printed in Taiwan, R.O.C.

取付／接続部品（付属品）

①

**タッピングネジ**
Φ5×20
×16

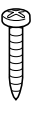
②

**取り付け金具**
×2

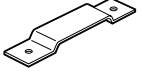
③

**両面テープ**
×2

④

**タッピングネジ**
Φ4×20
×8

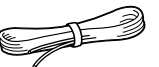
⑤

**ベルト固定金具**
×4

⑥

**ベルト**
2m×1

⑦

**スピーカーコード**
2m×1

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

部品の保有期間について

当社ではカーオーディオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

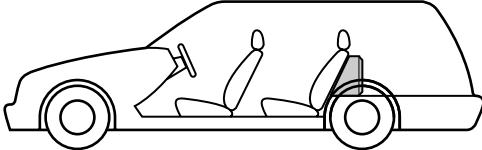
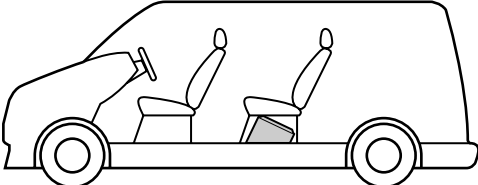
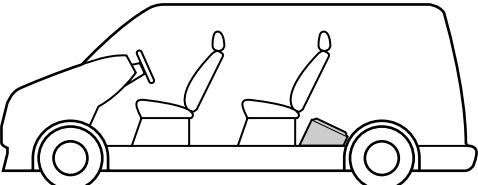
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

取り付け

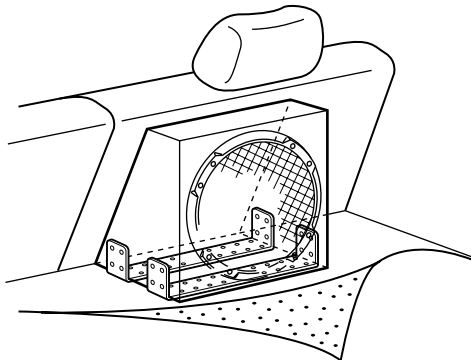
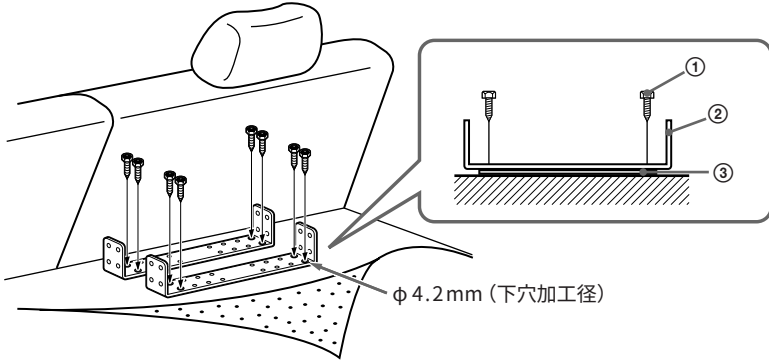
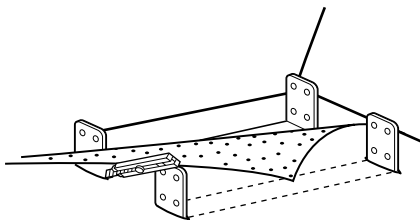
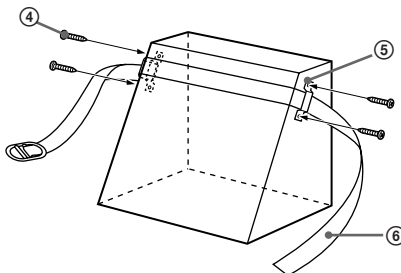
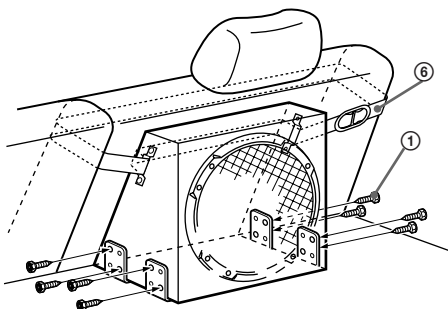
取り付ける前に

- ・車の運転の妨げにならない場所、非常時などの際に同乗者に危険を与えるおそれのない場所を選び、付属の取り付け金具を使ってしっかりと取り付けて下さい。
- ・ヒーター吹き出し口の近く、直射日光の当たる場所などは、故障の原因になりますので取り付けないでください。
- ・リアシートの下に取り付ける際は、コード類がシートをスライドさせるときに、はさまれないように注意してください。
- ・取り付け場所にネジ穴をあけるときは、裏側に何も無いことを確かめてから作業してください。

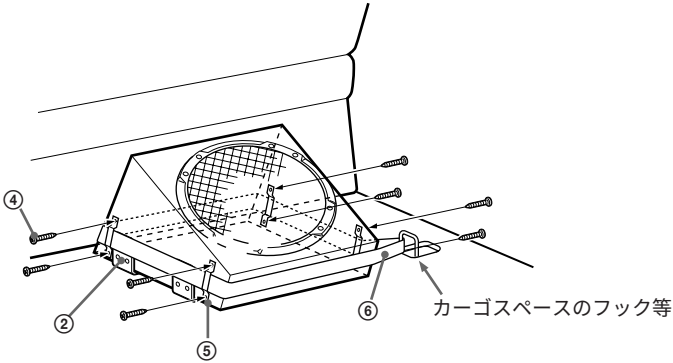
場所

ステーションワゴン/バン 例：リアシート裏	ワンボックス 例：リアシート下	例：カーゴスペース
		

取り付けかた（リアシート裏取り付け例）

1 カーペットを外して取り付け位置を決めます。  ご注意 タッピングネジで取り付け金具を固定しますので、車体下にパイプ類、タンク、電気配線などがない場所に位置を決めてください。	2 取り付け金具に合わせ車体到下穴をあけ、付属のネジと両面テープで固定します。  ご注意 取り付け金具の裏面に、必ず両面テープを貼り付けてください。	
3 カーペットを戻しながらカッターナイフなどで切り込みを入れ、取り付け金具を出します。 	4 ウーファーボックスにベルト固定金具を取り付け、ベルトをとおします。 	5 付属のネジで取り付け金具にウーファーボックスを固定し、ベルトで車の安全な所（リアシートなど）に結びます。 

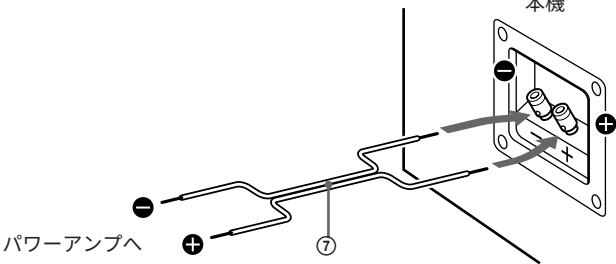
その他の例

カーゴスペース等 

- ご注意**
ベルトでの固定は車の衝突、転倒等でウーファーボックスが乗車スペースへ飛び込むのを防ぐためのものです。ベルトのみでの固定は大変危険ですので、おやめください。

接続

接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。



スピーカーコードに線のはいつてる方をマイナス端子へ接続してください。

本機はローパスフィルターを内蔵していません。接続先の機器にて調整してください（カットオフ周波数は50～300Hzを推奨します）。